

自然との共生

方針・考え方

当社グループは、自然資本を活用した事業を行っており、地域の環境保全に取り組むことは重要な責務と認識しています。事業活動が環境へ影響を与えていることを認識し、環境アセスメントをはじめとする環境負荷低減および生物多様性の保護に関する取り組みを推進していきます。

指標・目標

指標	範囲	単位	実績	目標
			2025年度	2026～2030年度
大気・水域等への環境負荷低減 (環境保全協定値以下)	グループ	—	協定値 超過なし	協定値超過なし
生物多様性に係る取り組み	グループ	—	—	取り組みの推進

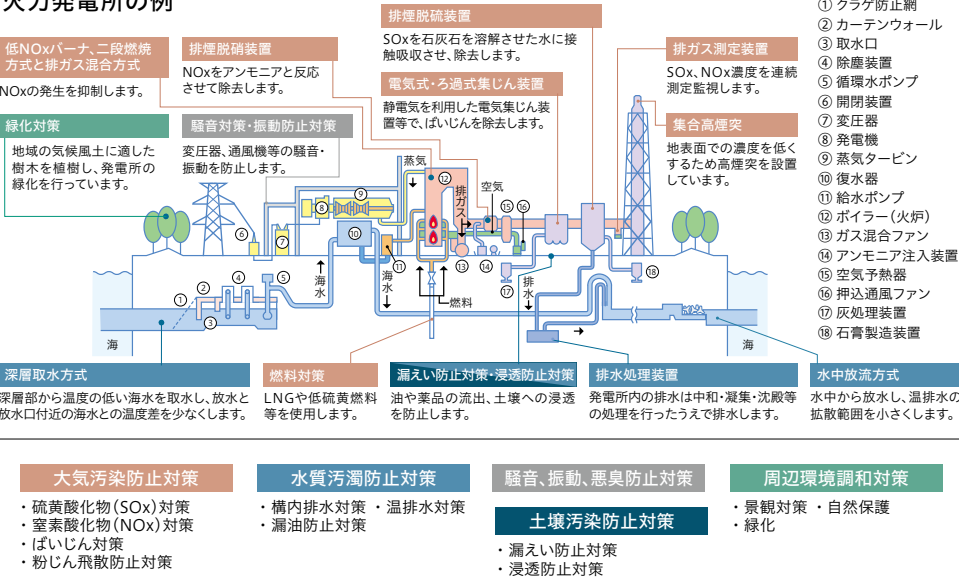
取り組み

大気・水域等への環境負荷低減

発電所における環境保全対策

地域環境の保全のため国・自治体の定める法令や自治体との間で締結した環境保全協定に基づき、発電所から排出するばい煙や排水等の測定・監視を行うとともに、環境対策設備に最新の技術を導入しています。

火力発電所の例



環境アセスメント(環境影響評価)の実施

発電所の新設・増設にあたり、法令に基づく環境アセスメントを実施し、最新技術による調査・予測・評価と地域の皆さまの声を反映した環境保全対策により、周辺環境への影響を最小化しています。

また、柳井発電所2号系列のリブレース計画においても、環境影響評価法に基づき高層気象観測※等を行い、適切に環境アセスメントを実施しています。

※発電所上空の気温、風向、風速等を観測し、煙突からの排ガスの拡散を予測・評価するために調査を実施



猛禽類調査(2025年4月)

自然との共生

発電所運転開始後の周辺環境モニタリング

発電所の運転開始に伴い、地域住民への生活環境・自然環境について適正な保全を目的に関係自治体と環境保全協定等を締結し、発電所周辺における大気、海域等の環境の状況をモニタリングし、関係自治体へその結果を報告するとともに公表しています。

WEB 三隅発電所環境等監視結果
<https://www.energia.co.jp/area/shimane/entry/12008.html>

WEB 島根原子力発電所周辺環境放射線等調査結果
https://www.pref.shimane.lg.jp/bousai_info/bousai/bousai/genshiryoku/sihannki.html

WEB 島根原子力発電所建設工事中の環境監視調査結果
<https://www.energia.co.jp/atom/atom13-07-1.html>



海生生物調査(2024年11月)

化学物質の適正な管理

PCB無害化処理の取り組み

当社グループでは、PCB廃棄物の法定期限内の適正処理を推進しており、高濃度PCB廃棄物は2020年度末までに処理を完了しました。低濃度PCB廃棄物についても、認定施設において2026年度末までに計画的に処理します。

WEB PCBの適正処理について
<https://www.energia.co.jp/energy/energia/pcb/>

石綿問題への対応

当社グループは、2005年度に石綿(アスベスト)問題に関する対応方針を定め、新規使用を禁止するとともに使用状況等の調査を定期的実施し、適切に対応しています。

WEB 石綿問題への取り組み
<https://www.energia.co.jp/energy/energia/ishiwata/index.html>

生物多様性に係る取り組みの推進

当社グループは、生物多様性に関する取り組みとして、水源かん養林が生み出すCO₂吸収量や自然共生サイト、Jブルークレジット等、保有する自然資本を効果的に活用するとともに、自治体との連携によるネイチャーポジティブ宣言等の取り組みを通じて、地域における自然との共生活動に貢献しています。

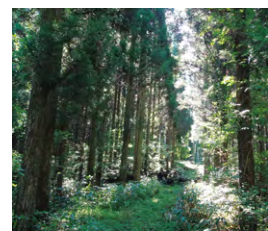
社有林	J-クレジットとして認証
	自然共生サイトの認定を取得
人工リーフ	Jブルークレジットとして認証
Hiビーズ® P18	
自治体との連携	「とっとりネイチャーポジティブ宣言」への参画

社有林の維持管理による森林由来J-クレジットの認証と活用

水力発電の安定運用を支える約1,500haの水源かん養林を保有・管理することで、水資源の確保とともに、CO₂吸収や土砂流出防止、生物多様性の保全にも寄与しています。

この社有林の維持管理を通じて、森林由来J-クレジットの創出(8年間で約2,000tを計画)および活用に取り組んでおり、お客さま・地域の脱炭素化への貢献を進めています。2025年度は、289tの認証を取得し、広島市内のイベントでの電力使用や参加者の会場までの移動に伴うCO₂排出量をオフセットしました。

さらに、社有林の一部は環境省「自然共生サイト」にも認定されています。



自然共生サイトの認定を受けた当社社有林(北広島町)



2025年度活用実績

イベント

- 「HIROSHIMA CONTI-NeW FeS 2025」
電力使用や参加者の会場までの移動に伴うCO₂排出量をオフセットしたフェスとして開催

人工リーフの設置によるJブルークレジットの創出と活用

島根原子力発電所3号機では、防波護岸前面に人工リーフを設置し、人工リーフが海藻類の繁殖場を形成することで生物多様性の向上と自然資本の創出に貢献しています。これらの藻場のCO₂吸収機能を活用し、2017～2021年の累計で15.7tの吸収量についてJブルークレジット認証を取得し、地域イベント等で活用しています。

2025年度活用実績

地域モビリティ

- 堀川遊覧船
電動遊覧船等の使用により排出されるCO₂をオフセット



スポーツ

- バスケットボール試合
男子プロバスケットボールリーグの島根スサノオマジックのホームゲームが、カーボンニュートラルマッチとして開催



PAC-MAN™ & ©Bandai Namco Entertainment Inc.

イベント

- 美容とファッションミューズフェス
松江市で開催された美容とファッションの祭典「ミューズフェス2025」開催時に発生するCO₂をオフセット

